

会長賞

大手通りモール整備事業

(表彰対象者：富山市都市開発部都市計画課)

表彰の理由

快適な歩行者空間を創出するため、市民プラザと一体となった街路整備を行い、情報拠点、レクリエーション拠点としての機能を持たせるなど、従来のイメージを一新した都市の顔づくりを行ったことなどが評価された。

事業のあらまし

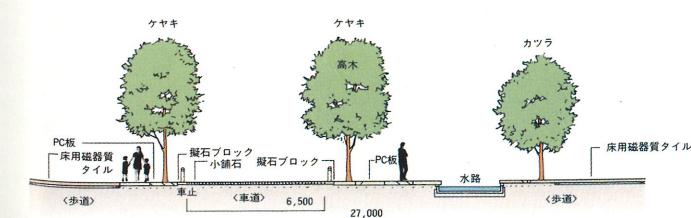
大手通りは、豊かな緑を提供し、市民のシンボルである富山城の大手門より伸びる歴史性を持ったみちであり、市の中心商店街である総曲輪通り西口に面し、西町、中央通り等の商業地が隣接している。総曲輪西地区整備事業により、情報、文化、レクリエーションの拠点としての「市民プラザ」の建設に伴い、大手通りを都心の顔にふさわしい空間として、賑わいと格調ある景観をつくり、市民が集い、憩い、交歓する場として、城址公園と総曲輪通りを結びつけ、快適な回遊空間を提供するための整備をしたものである。

- 延長：300m
- 幅員：27m
- 事業費：660百万円
- 事業実施期間：昭和62年9月～平成元年3月

曲率の大きな車道と、街路樹のケヤキ、カツラが周囲の建物と調和し、豊かな緑と空間を醸し出している。



水が噴出し、ゆっくり左右が傾き風が吹けば回転し、鏡面仕上げのステンレスが日差しを浴びキラキラ輝く。



車道と歩行者通行帯の間に造成されたせせらぎ等の施設は、潤いや、安らぎを醸す空間としての役割を担う。



水の豊富な富山の河川を表現したせせらぎは、夏期には子供達の格好の遊び場となる。



この市民プラザ前は、プラザの広場とモールを利用して、各種イベント会場となる。

事業遂行上の工夫

自動車通行動線となっていない穏やかに湾曲した現況の道路を生かし、更に曲率の大きな車道を6.5mとし、歩行者通行帯と車道間に生み出される空間を、城址公園から連続した並木、水、広場の環境ゾーンとし整備した。モールという細長い広場を点、線、面、オブジェによる照明で夜間でも楽しんで散策できる空間を創出した。